

（宛先）港区長

2024 年 12 月 24 日

住所 東京都千代田区外神田四丁目14番1号

氏名 エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社
代表取締役社長 池田 康

（法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）

港区地球温暖化対策報告書提出書

港区民の生活環境を守る建築物の低炭素化の促進に関する条例第15条第1項の規定に基づき、下記のとおり提出します。

記

事業者名		エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社			
事業者所在地		東京都千代田区外神田四丁目14番1号			
連絡先	事業者名	NTTアーバンバリューサポート株式会社			
	所属名	首都圏第一事業部			
	担当者名	不破 康敬			
	電話番号	【固定電話】	0363848863	(ハイフンなし)	
	メールアドレス	energy_bs-ml	@	ntt-us.com	
	備考				
地球温暖化対策報告書提出事業所一覧	1	事業所等の名称	品川シーズンテラス		
		事業所番号	20279-00534	提出様式	都_C&T様式
	2	事業所等の名称	グランパークビル		
		事業所番号	20279-00535	提出様式	都_C&T様式
	3	事業所等の名称	プラセオ青山ビル		
		事業所番号	20279-00536	提出様式	都_報告書様式
	4	事業所等の名称	フェスタ麻布ビル		
		事業所番号	20279-00537	提出様式	都_報告書様式
	5	事業所等の名称	アーバンネット南麻布ビル		
		事業所番号	20279-00538	提出様式	都_報告書様式
	6	事業所等の名称	南青山ビル		
		事業所番号	20279-00539	提出様式	都_報告書様式
	7	事業所等の名称	アーバンネット内幸町ビル		
		事業所番号	20279-00541	提出様式	区様式
	8	事業所等の名称	UD神谷町ビル		
		事業所番号	20279-00542	提出様式	区様式
	9	事業所等の名称			
		事業所番号		提出様式	
	10	事業所等の名称			
		事業所番号		提出様式	

(6) 燃料等使用量及び特定温室効果ガス排出量

燃 料 ・ 熱 の 種 類			使 用 量 等		熱量 (GJ)	特定温室効果ガス排出量	
			単 位	2023年度		排出係数 (t/GJ, 千kWh)	排出量 (t)
燃料及び熱	原 油		kL			0.0187	
	原 油 の う ち コ ン デ ン セ ー ト (N G L)		kL			0.0184	
	揮 発 油 (ガ ソ リ ン)		kL			0.0183	
	ナ フ サ		kL			0.0182	
	灯 油		kL			0.0185	
	軽 油		kL			0.0187	
	A 重 油		kL	8	293	0.0189	20
	B ・ C 重 油		kL			0.0195	
	石 油 ア ス フ ァ ル ト		t			0.0208	
	石 油 コ ー ク ス		t			0.0254	
	石 油 ガ ス	液化石油ガス (LPG)	t			0.0161	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³			0.0142	
	可 燃 性 天 然 ガ ス	液化天然ガス (LNG)	t			0.0135	
		その他可燃性天然ガス	千Nm ³			0.0139	
	石 炭	原 料 炭	t			0.0245	
		一 般 炭	t			0.0247	
		無 煙 炭	t			0.0255	
	石 炭 コ ー ク ス		t			0.0294	
	コ ー ル タ ー ル		t			0.0209	
	コ ー ク ス 炉 ガ ス		千Nm ³			0.0110	
	高 炉 ガ ス		千Nm ³			0.0263	
	転 炉 ガ ス		千Nm ³			0.0384	
	そ の 他 の 燃 料	都市ガス (13A)	千Nm ³	92	4,134	0.0136	206
		都市ガス (6A)	千Nm ³			0.0136	
	産 業 用 蒸 気		GJ			0.060	
	産 業 用 以 外 の 蒸 気		GJ			0.060	
	温 水		GJ	21,338	29,019	0.060	1,280
	冷 水		GJ	38,498	52,357	0.060	2,310
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した熱		GJ			0.060	
	小 計				85,804		3,817
電 気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間 (8時～22時)	千kWh			0.489	
		夜間 (22時～翌日8時)	千kWh			0.489	
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		千kWh	16,767	163,645	0.489	8,199
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した電気		千kWh			0.489	
	再生可能エネルギーを自家消費した電気※		千kWh			0.489	
	小 計		千kWh	16,767	163,645		8,199
外 部 供 給	自 ら 生 成 し た 熱 の 供 給		GJ				
	自 ら 生 成 し た 電 力 の 供 給		千kWh				
	小 計						
	低 炭 素 電 力 の 受 入 れ						
	低 炭 素 熱 の 受 入 れ						
	高 炭 素 電 力 の 受 入 れ						
	高効率コージェネレーションシステムからの電気の受入れ						
	高効率コージェネレーションシステムからの熱の受入れ						
	小 原 単 位 建 物 相 当 量						
	合 計		GJ		249,449		12,015
	原 油 換 算		kL		6,435		

※環境価値換算量 (電気等環境価値保有量) として評価される場合は、記入しないこと。

(参考) 自ら再生可能エネルギーから生成した熱又は電気の量	熱	GJ	
	電 気	千kWh	81

2023 年度

その他ガス排出量算定報告書

1 指定地球温暖化対策事業所の概要

事業所の名称	品川シーズンテラス
事業所の所在地	港区港南一丁目2番70号

2 排出量の算定根拠

(1) 水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水

排出活動の種類	前年度活動量		温室効果ガス排出量	
	活動量	単位	排出係数	排出量(t)
水道及び工業用水道の水の使用	53.928	千m ³	0.266	14.3
公共下水道への排水	84.561	千m ³	0.400	33.8
合 計				48.1

(2) 事業所内における温室効果ガスの排出に係るその他の排出活動

排出活動の種類	前年度活動量		ガス種類	温室効果ガス排出量 (当該物質の量)		温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算)	
	活動量	単位		排出係数	排出量(t)	地球温暖化係数	排出量(t)
ガス種類別合計					非エネルギー 起源二酸化炭素(CO ₂)		
					メタン (CH ₄)		
					一酸化二窒素 (N ₂ O)		
					ハイドロフルオロカーボン (HFC)		
					パーフルオロカーボン (PFC)		
					六フッ化いおう (SF ₆)		
					三フッ化窒素 (NF ₃)		

(6) 燃料等使用量及び特定温室効果ガス排出量

燃 料 ・ 熱 の 種 類			使 用 量 等		熱 量 (GJ)	特定温室効果ガス排出量	
			単 位	2023年度		排出係数 (t/GJ, 千kWh)	排出量 (t)
燃料及び熱	原 油		kL			0.0187	
	原 油 の う ち コ ン デ ン セ ー ト (NGL)		kL			0.0184	
	揮 発 油 (ガ ソ リ ン)		kL			0.0183	
	ナ フ	サ	kL			0.0182	
	灯 油		kL			0.0185	
	軽 油		kL			0.0187	
	A 重 油		kL	7	274	0.0189	19
	B ・ C 重 油		kL			0.0195	
	石 油 ア ス フ ァ ル ト		t			0.0208	
	石 油 コ ー ク ス		t			0.0254	
	石 油 ガ ス	液化石油ガス (LPG)	t			0.0161	
		石油系炭化水素ガス	千Nm ³			0.0142	
	可 燃 性 天 然 ガ ス	液化天然ガス (LNG)	t			0.0135	
		その他可燃性天然ガス	千Nm ³			0.0139	
	石 炭	原 料 炭	t			0.0245	
		一 般 炭	t			0.0247	
		無 煙 炭	t			0.0255	
	石 炭 コ ー ク ス		t			0.0294	
	コ ー ル タ ー ル		t			0.0209	
	コ ー ク ス 炉 ガ ス		千Nm ³			0.0110	
	高 炉 ガ ス		千Nm ³			0.0263	
	転 炉 ガ ス		千Nm ³			0.0384	
	そ の 他 の 燃 料	都市ガス (13A)	千Nm ³	38	1,728	0.0136	86
		都市ガス (6A)	千Nm ³			0.0136	
	産 業 用 蒸 気		GJ			0.060	
	産 業 用 以 外 の 蒸 気		GJ	14,500	19,720	0.060	870
	温 水		GJ			0.060	
	冷 水		GJ	43,312	58,904	0.060	2,599
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した熱		GJ			0.060	
	小 計				80,625		3,574
電 気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間 (8時～22時)	千kWh			0.489	
		夜間 (22時～翌日8時)	千kWh			0.489	
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		千kWh	14,215	138,743	0.489	6,951
	再生可能エネルギーの環境価値を移転した電気		千kWh			0.489	
	再生可能エネルギーを自家消費した電気※		千kWh			0.489	
外部供給	小 計		千kWh	14,215	138,743		6,951
	自 ら 生 成 し た 熱 の 供 給		GJ				
	自 ら 生 成 し た 電 力 の 供 給		千kWh				
低炭素電力の受入れ	低炭素電力の受入れ						
	低炭素熱の受入れ						
	高炭素電力の受入れ						
	高効率コージェネレーションシステムからの電気の受入れ						
	高効率コージェネレーションシステムからの熱の受入れ						
	小 原 単 位 建 物 相 当 量						
	合 計		GJ		219,368		10,525
原 油 換 算			kL		5,659		

※環境価値換算量 (電気等環境価値保有量) として評価される場合は、記入しないこと。

(参考) 自ら再生可能エネルギーから生成した熱又は電気の量	熱	GJ	
	電 気	千kWh	12

2023 年度

その他ガス排出量算定報告書

1 指定地球温暖化対策事業所の概要

事業所の名称	グランパークビル
事業所の所在地	東京都港区芝浦三丁目4番1号

2 排出量の算定根拠

(1) 水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水

排出活動の種類	前年度活動量		温室効果ガス排出量	
	活動量	単位	排出係数	排出量(t)
水道及び工業用水道の水の使用	36.245	千m ³	0.266	9.64
公共下水道への排水	36.245	千m ³	0.400	14.5
合 計				24.1

(2) 事業所内における温室効果ガスの排出に係るその他の排出活動

排出活動の種類	前年度活動量		ガス種類	温室効果ガス排出量 (当該物質の量)		温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算)	
	活動量	単位		排出係数	排出量(t)	地球温暖化係数	排出量(t)
ガス種類別合計					非エネルギー 起源二酸化炭素(CO ₂)		
					メタン (CH ₄)		
					一酸化二窒素 (N ₂ O)		
					ハイドロフルオロカーボン (HFC)		
					パーフルオロカーボン (PFC)		
					六フッ化イオウ (SF ₆)		
					三フッ化窒素 (NF ₃)		

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	プラセオ青山ビル												
事業所番号	A	0	4	6	3	—	0	0	3	3			
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	6	1	区市町村名			港区
	町名番地以下	北青山2-7-13											
事業所等の延床面積	19,625.75			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)												
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他												
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☒ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	1,200	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2,267	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	21	t
	総計(④=②+③)	④	2,288	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	115.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出係数 ⑨	排出量※ ¹ (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	104,985.5	45.00	4,724.3	0.0136	235.6		
	その他(A重油)		☐	L	16.0	39.10	0.6	0.0189	0.0		
	その他(温水)		☐	MJ	1,471,209.0	1.36	2,000.8	0.0600	88.3		
	その他(冷水)		☐	MJ	6,330,796.0	1.36	8,609.9	0.0600	379.8		
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	3,197,371.0	9.76	31,206.3	0.4890	1,563.5		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	46,542.0		⑭	2,267.3
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	31,929.0				0.2660		8.5
	公共下水道		☐	m ³	31,929.0				0.4000		12.8
合 計										⑮	21.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×(

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運 用 対 策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C806	その他設備の不使用时の停止
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理		
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E135	エレベータのインバータ制御
				E140	BEMSの導入
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☒ 有	☐ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当た)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	フェスタ麻布ビル											
事業所番号	A	0	4	6	3	—	0	0	2	1		
事業所等の所在地	〒	1	0	6	—	0	0	4	5	区市町村名 港区		
	町名番地以下	麻布十番1-7-5										
事業所等の延床面積	3,658.08			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所			☐ 商業施設(物販)			☒ 商業施設(飲食)					
	☐ 工場			☐ 複合施設			☐ その他					
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店		☒ 非該当		
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☒ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	225	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	437	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	441	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	119.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料及び熱	都市ガス		☐	Nm ³	35,870.6	45.00	1,614.2	0.0136	80.5		
	その他(軽油)		☐	L	21.0	37.70	0.8	0.0187	0.1		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	729,472.0	9.76	7,119.6	0.4890	356.7		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	
合 計							⑬	8,734.6		⑭	437.3
その他	水道及び工業用水道		☐	m ³	6,435.0				0.2660	1.7	
	公共下水道		☐	m ³	6,435.0				0.4000	2.6	
合 計										⑮	4.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×(

(日本産業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運 用 対 策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E131	冷凍・冷蔵用高効率冷凍機の採用
		E114	高効率パッケージの採用	E135	エレベータのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当た)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	アーバンネット南麻布ビル											
事業所番号	A	0	4	6	3	—	0	0	0	2		
事業所等の所在地	〒	1	0	6	—	0	0	4	7	区市町村名 港区		
	町名番地以下	南麻布3-19-16										
事業所等の延床面積	834.62			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)											
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☒ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	18	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	35	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	35	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	41.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料及び熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0			
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0			
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	72,237.0	9.76	705.0	0.4890	35.3			
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0	0.4890	⑬
合 計							⑭	705.0		⑮	35.3	
その他	水道及び工業用水道		☐	m ³	233.0				0.2660	0.1		
	公共下水道		☐	m ³	233.0				0.4000	0.1		
合 計										⑯	0.2	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×(

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運 用 対 策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C806	その他設備の不使用时の停止
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況 ☒ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当た)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	南青山ビル											
事業所番号	A	0	4	6	3	—	0	0	1	4		
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	6	2	区市町村名 港区		
	町名番地以下	南青山1-12-31										
事業所等の延床面積	2,986.86			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)											
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
再生可能エネルギーの利用状況	☐ 再生可能エネルギー発電設備の設置 ☐ 再生可能エネルギー電気の受入 ☒ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2023年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	140	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	272	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	274	t
二酸化炭素	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	91.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
					⑥	⑦		⑨	⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	558,256.0	9.76	5,448.6	0.4890	273.0		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬	0.0	
合 計							⑭	5,448.6		⑮	273.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,451.0				0.2660	1.2	
	公共下水道		☐	m ³	4,451.0				0.4000	1.8	
合 計										⑯	3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×(

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運 用 対 策	C801	共用部照明のフロアごとの管理	C802	階段照明の管理手法の検討・実施
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C806	その他設備の不使用时の停止
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E135	エレベータのインバータ制御

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無 ☒ 有 ☐ 無

目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	1.0	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当た)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

2024 年 12 月 24 日

（宛先）港区長

提出者

住所 東京都千代田区外神田四丁目14番1号

氏名 エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社
代表取締役社長 池田 康

（法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）

港区地球温暖化対策報告書

港区民の生活環境を守る建築物の低炭素化の促進に関する条例第15条第1項の規定に基づき、下記のとおり提出します。

記

事業所等の名称		アーバンネット内幸町ビル					
事業所等の所在地		港区	新橋一丁目1番13号				
事業所番号		20279			-	00541	
延床面積		36,145.48㎡			竣工年月		2019 年 7 月
日本標準産業分類における細分類番号			6911		主たる用途		複合施設
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分				
原油換算エネルギー使用量					1282	kl	
二酸化炭素排出量		燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量			2488	t	
		水道及び工業用水道の使用、公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量			33	t	
		総計			2521	t	
二酸化炭素排出量原単位（延床面積当たりの排出量）					68.8	kg-CO2/㎡	
原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量の内訳						二酸化炭素	
燃料等の種別		単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出係数	排出量 (t)
燃料及び熱	都市ガス	Nm³	116765	45.00	5254.425	0.0136	262.021
	LPG	kg		50.80		0.0161	
	灯油	L		36.70		0.0185	
	産業用蒸気	MJ		1.02		0.06	
	産業用以外の蒸気	MJ		1.36		0.06	
	温水	MJ		1.36		0.06	
	冷水	MJ		1.36		0.06	
	その他の燃料				3.959		
電気	昼間	kWh		9.97		0.489	
	夜間	kWh		9.28		0.489	
	その他の買電	kWh	4553720	9.76	44444.307	0.489	2226.769
合計					49702.691		2488.790
その他	水道、工業用水道	㎡	48177			0.251	12.092
	公共下水道	㎡	48177			0.439	21.150
合計							33.242

※提出者が複数いる場合は、別紙を提出してください。

2024 年 12 月 24 日

（宛先）港区長

提出者

住所 東京都千代田区外神田四丁目14番1号

氏名 エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社
代表取締役社長 池田 康

（法人にあっては名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地）

港区地球温暖化対策報告書

港区民の生活環境を守る建築物の低炭素化の促進に関する条例第15条第1項の規定に基づき、下記のとおり提出します。

記

事業所等の名称		UD神谷町ビル					
事業所等の所在地		港区	虎ノ門3丁目18-19				
事業所番号		20279			-	00542	
延床面積		8,716.53㎡			竣工年月		1990 年 12 月
日本標準産業分類における細分類番号			6911		主たる用途		事務所
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			1年度分				
原油換算エネルギー使用量					313	kl	
二酸化炭素排出量		燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量			609	t	
		水道及び工業用水道の使用、公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量			3	t	
		総計			612	t	
二酸化炭素排出量原単位（延床面積当たりの排出量）					69.8	kg-CO2/㎡	
原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量の内訳						二酸化炭素	
燃料等の種別		単位	使用量	係数	熱量（GJ）	排出係数	排出量（t）
燃料及び熱	都市ガス	Nm³		45.00		0.0136	
	LPG	kg		50.80		0.0161	
	灯油	L		36.70		0.0185	
	産業用蒸気	MJ		1.02		0.06	
	産業用以外の蒸気	MJ		1.36		0.06	
	温水	MJ		1.36		0.06	
	冷水	MJ		1.36		0.06	
	その他の燃料						
電気	昼間	kWh		9.97		0.489	
	夜間	kWh		9.28		0.489	
	その他の買電	kWh	1245523	9.76	12156.304	0.489	609.061
合計					12156.304		609.061
その他	水道、工業用水道	㎡	4619			0.251	1.159
	公共下水道	㎡	4619			0.439	2.028
合計							3.187

※提出者が複数いる場合は、別紙を提出してください。